



## ○ ことば

私自身の人生を振り返って見ました。  
進路選択の一番大きな場面は卒業後の仕事を  
決めるときだったでしょうか。教員という職  
業を選択した大きな決め手は特になかったよ  
うに思います。また、高校ではなく中学校教  
員にした理由も明確にはありません。親から  
は高校を薦められましたが。

また、教員になってからは定期的に転勤が  
ありますが、島の小さな学校に行ってみたく  
という希望が一つあっただけで、他の場面で  
は提案された転勤先をそのまま承諾していま  
した。結果的にさまざまな種類の学校を経験  
させていただきました。記事のことばにある  
ように人生を楽しんでいたわけではありませ  
んが、選択した後の自分は肯定出来ていたよ  
うに思います。正しかったかどうかと判断しようとしていたらつまらない人生になっていたでしょうね。

今、学校の教員になろうとする人が減ってしまい、人材不足になっているようです。教員でない職業でも何回も転職する人は多いようです。転職自体が悪いことだとは思いませんが、「選択の後の自分を肯定する力」は持っておきたいですね。

専門学校は学びと同時に就職活動が始まります。迷うことも多いことだと思いますが、best を選ばうとせず、better の場で一生懸命がんばることが大切なのではなかろうかと、今回の記事を読んで感じました。もちろん「best を尽くす」ことの大切さも肯定したいです。

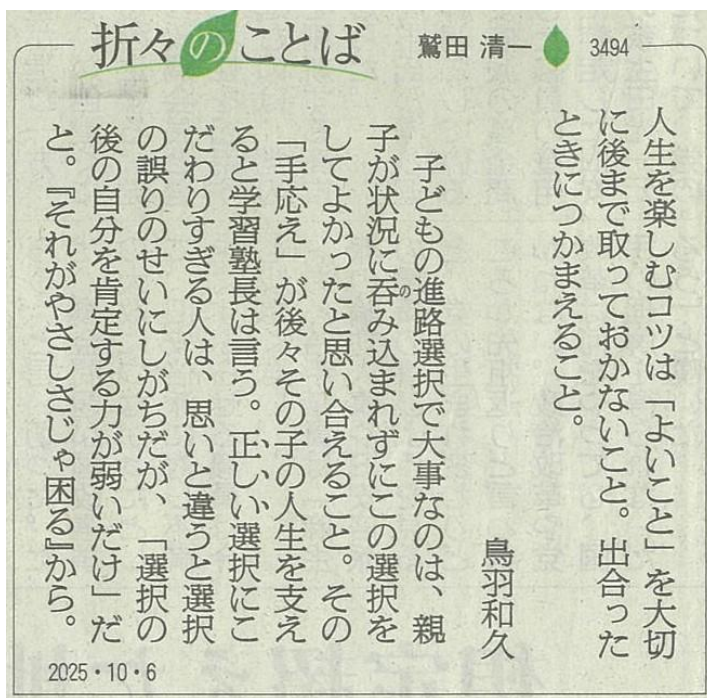
## ○ 自校自賛

干し柿！

昨年までは実がなっているのを見かけ  
ませんでしたが、今年、周りの木々  
を剪定しようと畑に行ってみるとたく  
さんの渋柿が育っていました。せっか  
くなので皮を剥いて干し柿にしてみま  
した。建物の外には軒先などのちょう  
どよいと思われる場所がありません。  
仕方がないので玄関脇の窓につるして  
みました。あまり風通しが良いところではないので上手く干し柿に仕上がる  
かどうか分かりませんが、秋のふんいきを感じるにはいいのではないでしょ  
うか。「桃栗三年、柿八年」という言葉のとおり八年が過ぎたので実を付けた  
のでしょうか。近くの保育園児はこれを見て反応してくれるのでしょうか？

植物：ムラサキシキブ（紫式部）

これまで何度も紹介しました。この秋もかわいい紫色の実が育っています。  
学校の花壇で静かに過ごしています。



朝日新聞「折々のことば」から

